

- ・第 1回 「見えてきた古代吉備の実像」(備前) 「岡山の自然と文化」 31号
 平成23(2011)年11月12日(土)開催

基調講演 「見えてきた古代吉備の実像」
 狩野 久(奈良文化財研究所名誉研究員)

パネルディスカッション

コーディネーター 神崎 宣武(おかやま夢づくり顧問、民俗学者)

パネラー 狩野 久

事例1 新納 泉(岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

事例2 乗岡 実(岡山市教育委員会文化財課課長)

- ・第 2回 「見えてきた古代吉備の実像」(備中) " 32号
 平成24(2012)年11月10日(土)開催

基調講演「東アジアの中の古代日本と吉備」
 鈴木靖民(横浜市歴史博物館館長、國學院大学名誉教授)

パネルディスカッション

コーディネーター 神崎 宣武(おかやま夢づくり顧問、民俗学者)

パネラー 鈴木 靖民

事例1 平井 典子(総社市教育委員会文化課課長補佐)

事例2 岩崎 充宏(山陽新聞社編集局文化部副部長)

- ・第 3回 「見えてきた古代吉備の実像」(美作) " 33号
 平成25(2013)年11月9日(土)開催

基調講演「美作国建国と律令国家」
 佐藤 信(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

関連講話「美作を語る「吉備と美作の記憶」～意識としての美作の誕生～
 尾島 治(津山郷土博物館館長)

鼎談 「美作国と古代吉備」
 神崎 宣武(おかやま夢づくり顧問、民俗学者)
 佐藤 信
 尾島 治

- ・第 4回 「今、中世の実像を求めて」 " 34号
 平成26(2014)年11月29日(土)開催

基調講演「今、中世の実像を求めて」
 久野 修義(岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

事例発表「中世社会の生存環境」
 西尾 和美(ノートルダム清心女子大学文学部教授)

「考古学から見た中世の村・館・城―鏡野町久田遺跡群の発掘調査―」
 弘田 和司(岡山県古代吉備文化財センター調査第三課長)

・第 5回 「今、中世の実像を求めて 信仰世界の「こころ」と「かたち」 35号

平成27(2015)年10月24日(土)開催

基調講演「中世仏教とその信仰」

平 雅行(京都学園大学教授・大阪大学名誉教授)

事例発表「中世吉備における寺社の形成と秩序 ―備前国を例に―」

苺米 一志(就実大学人文科学部教授)

「占い、呪い、祈禱する ―中世宗教者に求められた仕事―」

中田 利枝子(岡山県立美術館学芸課長)

パネルディスカッション

司会 久野 修義(岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

パネラー 平 雅行、苺米 一志、中田 利枝子

・第 6回 「今、中世の実像を求めて 時代の変革と地域」 ” 36号

平成28(2016)年12月10日(土)開催

基調講演「備作地域の戦国最末期史―「中国戦役」を考える―」

岸田 裕之(広島大学名誉教授)

事例発表「宇喜多直家の備前統一と岡山平野」

森 俊弘(岡山地方史研究会会員)

「考古学から見た中世城館

―旭川流域・吉井川流域・神代川流域の調査事例から―」

島崎 東(元岡山県古代吉備文化財センター)

パネルディスカッション

司会 久野 修義(岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

パネラー 岸田 裕之、森 俊弘、島崎 東

・第 7回 「近世の実像を求めて 史料の語る近世岡山」 ” 37号

平成29(2017)年12月2日(土)開催

趣旨説明「小さな細部から大きな歴史へ」

倉地 克直(岡山大学特命教授)

事例1 「村の記録と向きあう和気郡豪農大森家の系図調査より」

森元 純一(和気町歴史民俗資料館職員)

事例2 「倉敷の町と大橋家一族」

山本 太郎(倉敷市総務局総務部副参事(歴史資料整備室担当))

事例3 「武家社会に生きる ―津山藩松平家文書の武士たち―」

尾島 治(津山郷土博物館館長)

パネルディスカッション

司会・倉地克直 森元 純一、山本 太郎、尾島 治

・第 8回 「近世の実像を求めて 明治維新とは何であったか」 ” 38号

平成30(2018)年10月27日(土)開催

趣旨説明 「なぜ明治維新を取り上げるのか」

倉地克直(岡山大学特命教授)

講演1 「明治維新と現代」

猪飼隆明(大阪大学名誉教授)

講演2 「明治維新を問う ―岡山の人びとが願ったことから―」

定兼 学(岡山県立記録資料館館長)

パネルディスカッション

司会・倉地克直 猪飼隆明、定兼 学

・第 9回 「近世の実像を求めて 世界の中の近世日本」 ” 39号

令和元(2019)年11月23日(土)開催

趣旨説明 「『鎖国』をめぐる問い」

倉地克直(岡山大学特命教授)

講演1 「近世日本の国際関係と言説」

荒野 泰典(立教大学名誉教授)

講演2 「洋学は如何にして受容されたのか

―資料からみた美作の洋学者たちの動静―」

下山 純正(津山洋学資料館元館長)

パネルディスカッション

司会・倉地克直 荒野泰典、下山純正

・第10回 「歴史の実像を求めて 地域と歴史資料」(完結編) ” 42号

令和4(2022)年10月29日(土)開催

趣旨説明 倉地克直(岡山大学名誉教授)

講演1 「聞く歴史と文字史料の往還

―東日本大震災後の歴史実践を中心として―」

大門 正克(早稲田大学教育・総合科学学術院特任教授)

講演2 「吉備の古代社会を考える ―正倉院文書とシミュレーション―」

今津 勝紀(岡山大学文明動態学研究所教授)

「岡山史料ネットについて」

今津勝紀

まとめ 「まとめにかえて ―地域と歴史資料」

倉地克直

(講師の肩書は講演会当時のものです)